

科目番号	59	科目名	日本・京滋の食料と農業	
英文科目名	Food and Agriculture in Japan and the Keiji-area			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	淡路 和則 (農 学部 教授)			
教室名		会場	龍谷大瀬田学舎	
授業期間	2021年9月30日(木)～2022年1月13日(木) <毎週木曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	50	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)	50	%	
	その他 ()		%	
別途負担費用	(なし)		あり()円	
その他特記事項	日本の農業の姿、食の変化の概要を学びながら、京都・滋賀を中心とした近畿地方の農業や食文化を身近に感じ、学びのタネを発見できることを期待します。 リモート講義になる場合、改めて受講上の注意をmanabaで連絡します。			
<講義概要・到達目標>				
<講義概要>				
本講義は前半と後半の二つに分けられる。 前半は、日本農業の基本構造について概観し、日本の食生活の変化と国内農業の展開をたどり、食料自給率の低さに象徴される日本の食料需給の課題について解説する。 後半は、大学の地元である京都・滋賀を中心に近畿地方における農業や地域おこしの取り組みを紹介し、具体的事例を通して農と食の現代的課題を考える。 京都・滋賀を中心に近畿地方において実際に農業や地域おこしに関わっている方々を招聘し、地域の特色を生かした具体的な取り組みについて聞き、積極的に議論を行うことを通じて、農業と社会の関係について学ぶ科目。				
<到達目標>				
(1)日本農業の特徴と問題点を把握する。 (2)京都・滋賀を中心とした近畿地方の農業や食文化の特徴を理解する。 (3)農業が日常生活にどのように関わっているのかを理解する。また、私たちはどのように農業に関わることができるのかを考える。				
<講義方法>				
配布資料やパワーポイントを用いた対面の講義およびディスカッション。 場合によってはリモート講義となる。時間割に従って、manabaを利用して、スライドや資料、動画を配信するので、決められた期間内に受講し、小テストに解答し、コメントシートなどを提出することが求められる。				
<授業時間外における予・復習等の指示>				
講義の際に適宜指示する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月30日	日本の国土と地勢		
2	10月7日	経済発展と農業の位置づけ		
3	10月14日	日本農業の特徴①:農地		
4	10月21日	日本農業の特徴②:ひと		
5	10月28日	日本農業の特徴③:技術		
6	11月4日	日本農業の特徴④:資本財		
7	11月11日	日本型食生活と食料生産の課題①:食料消費の変化		

8	11月18日	日本型食生活と食料生産の課題②:食をめぐる経済活動
9	11月25日	京都・滋賀の農業概論
10	12月2日	京滋の農と食①:京都の農と食に関わる取り組み事例
11	12月9日	京滋の農と食②:京都の農と食に関わる取り組み事例
12	12月16日	京滋の農と食③:滋賀の農と食に関わる取り組み事例
13	12月23日	京滋の農と食④:滋賀の農と食に関わる取り組み事例
14	1月6日	京滋の農と食⑤:滋賀の農と食に関わる取り組み事例
15	1月13日	まとめと補論
<p><教科書・参考書></p> <p><教科書> 適宜配布する。</p> <p><参考書> 必要な参考文献については、その都度指示する。</p>		